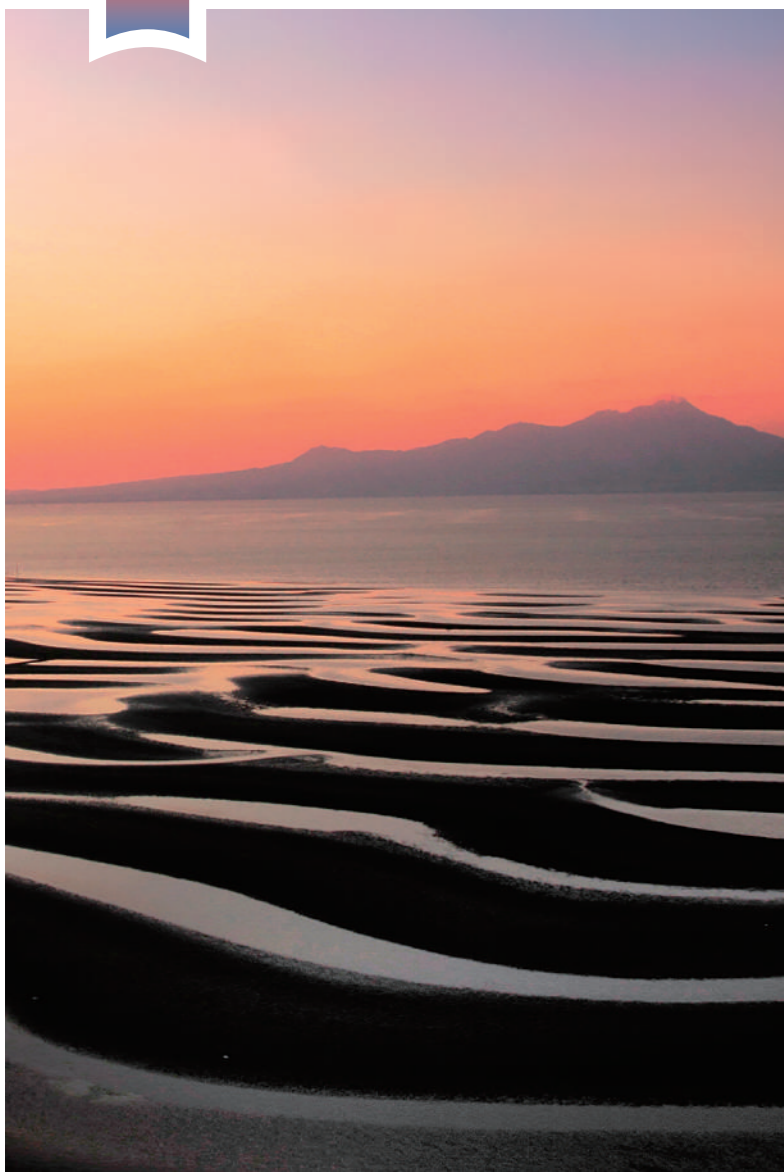


# 雲仙天草 国立公園



雲仙天草国立公園

国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

## 連絡先一覧

九州地方環境事務所  
〒860-0047 熊本県熊本市西区春日2丁目10番1号  
熊本地方合同庁舎B棟4F  
| TEL | 096-322-2412 | FAX | 096-322-2447

雲仙自然保護官事務所  
〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙320  
| TEL | 0957-73-2423 | FAX | 0957-73-2587

天草自然保護官事務所  
〒863-0021 熊本県天草市港町10-2  
| TEL | 0969-23-8366 | FAX | 0969-24-0730

雲仙天草国立公園サイト  
<http://www.env.go.jp/park/unzen/>



火山情報をご確認ください  
[https://www.jma.go.jp/jp/volcano/map\\_6.html](https://www.jma.go.jp/jp/volcano/map_6.html)

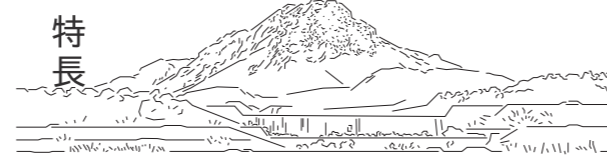


発行者：環境省  
発行年：2018年

※掲載写真の一部は、“島原半島の魅力～雲仙岳百景～フォトコンテスト”の応募作品を活用しています。  
※見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。

## 国立公園とは

## 特長



湯けむり漂う雲仙岳と  
島々連なる天草が織り成す“水陸の大展望”

本公園は、昭和9(1934)年に我が国最初の国立公園の一つとして誕生し(雲仙国立公園)、昭和31(1956)年には天草地域が追加されました(雲仙天草国立公園)。本公園の特長は、湯けむり漂う雲仙岳(温泉岳)の火山景観と、島々が連なる天草の海洋景観が織り成す、水陸の大展望です。雲仙地域は、20を超える山々から成る雲仙岳を中心とした島原半島の山岳地域で、三方の海とのセットで様々なパノラマが楽しめます。山名の由来である地獄の温泉をはじめ、火山活動を随所で体感できます。天草地域は、大小120の島々を含む多島海で、沈降海岸特有の湾入、陸繋島や海蝕崖など、海岸は変化に富み、海中ではサンゴ類も見られます。両地域は、「島原・天草一揆」で知られるキリスト教の歴史をはじめ、海外文化がいち早く到来した地域であり、史跡が多く見られます。また近年では、両地域の大地の成り立ちや恵みを知って楽しむ公園として、国立公園区域を核とする「島原半島ジオパーク」「天草ジオパーク」が認定されています。

【指定年月日】昭和9年3月16日 【面積】28,279ha 【関係都道府県】長崎県、熊本県、鹿児島県



次郎丸岳から眺めた雲仙岳(島原半島)と天草松島の島々

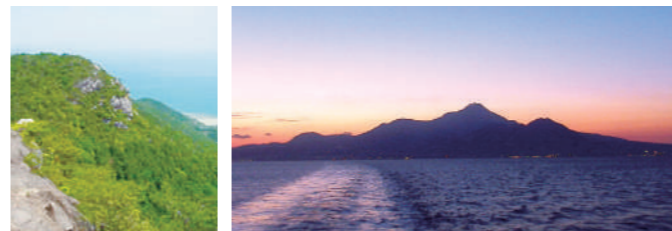
## 水陸景観 歴史文化

三方を海に囲まれた雲仙岳の登山道や車道からは、様々なパノラマが楽しめます。また、海からは優美な曲線のシルエットが心を捉えます。天草の多島海は、穏やかな海面と荒々しい断崖が対照的で、上島の東海岸沿いは、鋭い稜線がすぐ海に迫る山容から観海アルプスと呼ばれています。西は外洋の東シナ海に面し、東は九州各方面へのアクセスルートである有明海に面した島原・天草地域には、古来、様々な海外文化がいち早く到来し、花開きました。島原半島は、国内で最も早く(縄文晩期)稲作が大陸から導入された地域のひとつとされ、関連遺跡が点在しています。仏教も大陸伝来ですが、名高い僧・行基によって大宝元(701)年に開山され(温泉山満明寺)、そ



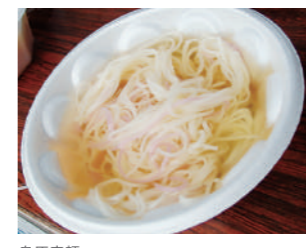
雲仙岳から眺望した有明海と天草諸島

天草松島の多島海景観



観海アルプス

有明海から眺望した雲仙岳のシルエット



島原素麺



清明寺



雲仙温泉街

## 生態系 動物植物



雲仙地域では、標高950m以上の落葉広葉樹林帯(本土で最西端)、600m以下の照葉樹林帯、600～950mの混交林帯の3つの植生帯が見られます。1000m級の普賢岳一帯では秋の紅葉が美しく、国の天然記念物「普賢岳紅葉樹林」に指定されています。普賢岳の平成噴火で誕生し、未だ植生がまばらな平成新山も国指定天然記念物です。地下から火山ガスが噴出する雲仙地獄では、硫化水素を含む火山ガスで熱せられた、温泉藻の生える湯だまりから、ツクシテンツキ、ススキ、シロドウダン、アカマツの順に距離をもって分布する様子が観察できます。また、かつての地獄の噴気が弱まってきたとされる原生沼には、ミスゴケ湿原が広がり、カキツバタやレンゲツツジなどが生育しています。野鳥の豊富な本地域では、夏にはオオルリやキビタキ、ホトギスなどが多く渡来し、山にさえざり響きます。また、冬には諏訪の池などにカモ類が多く渡来します。



普賢岳広葉樹林

平成新山



雲仙地獄

シロドウダン

オオルリ



仁田峠のミヤマキリシマ群落

雲仙岳北面のヤマボウシ群落



放牧黒牛

南島原の稲田

ハマオモト

ルリスズメとホウライヒメジ

## 取り組み



### 雲仙地域

みなさまに安全に利用していただくため、環境省では登山道や園路のチェックや補修を行っています。また、地域住民を主体とした「雲仙を美しくする会」や環境省登録の「パークボランティア」との協力により、国立公園内の主要スポットや沿道の美化清掃、自然観察会、外来種の除去など、各種活動を行っています。

### 天草地域

本地域の玄関口に位置する松島は、内海に浮かぶ多くの島々と松林の美しさから日本三大松島の一つと言われていますが、マツクイムシなどによる衰退が見られるため、被害木の除去やマツクイムシ抵抗性マツの植栽を行っています。



仁田峠の清掃活動(パークボランティア)

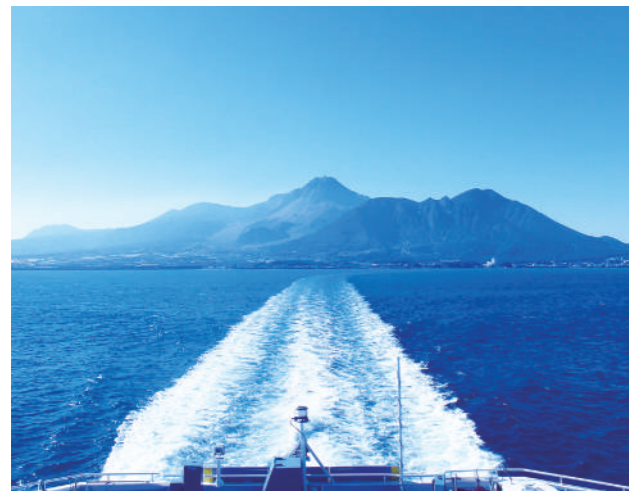
## 国立公園の利用上のマナー

多くの方に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。

- ゴミを捨てないでください
- 花や植物を採らないでください
- 野生動物に餌を与えないでください
- 野生動物を獲らないでください
- 歩行中禁煙
- たき火は指定の場所で行いましょう
- ダイバーは漁業者に配慮して下さい

天草の海には多くの種類のサンゴ類や熱帯魚類が生息し、その美しさから海域公園地区に指定されています。しかし、その海は古くから漁業者が様々な漁を行って生計を立てている場所でもあります。ダイビングをする際は、事故を回避するためにも必ず漁業組合に届出し、指示に従うとともに、潜っているときにも漁業に十分配慮して下さい。また、海洋生物の採取はしないで下さい。

01 海から眺める雲仙岳



三方を海に囲まれた雲仙岳は、海岸やフェリー航路から、海にぼんやり浮かぶ優美なシルエットが眺められます。シルエットは方角によって異なります。360°の多様な表情をお楽しみください。

02 03 奥雲仙・田代原と牧場の里あづま



雲仙岳北面にある奥雲仙・田代原と牧場の里あづまは、かつて雲仙岳一帯に広がっていた牛馬の放牧草原の面影が今も見られる場所です。6月には周辺一帯が白いヤマボウシで彩られます。

04 島原にそびえる眉山



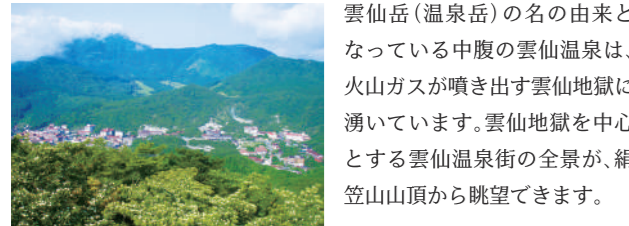
雲仙岳東端の眉山は、島原の町の背後に屏風のように立っています。江戸時代に発生した斜面崩壊後の恵みとして、豊富な湧水や温泉(島原温泉)、良好な漁場・港湾が見られます。

05 仁田峠周辺から眺める海と雲仙岳



島原半島の中心に位置する雲仙岳山頂部の仁田峠展望所は、登山の拠点であり、ロープウェイの始点です。登山道やロープウェイから眺められる海と雲仙岳の大展望が魅力です。

06 雲仙地獄と雲仙温泉街



雲仙岳(温泉岳)の名の由来となっている中腹の雲仙温泉は、火山ガスが噴き出す雲仙地獄に湧いています。雲仙地獄を中心とする雲仙温泉街の全景が、絹笠山山頂から眺望できます。

07 南島原にそびえる高岩山



雲仙岳南端の高岩山は、雲仙岳の山並み、南島原の街並み、有明海、天草諸島が一望できる絶景スポットです。雲仙岳の化身とされる伝説の巨人「みそ五郎」の民話が多く残る山です。

08 雲仙岳を映す諏訪の池



断層地形を利用して江戸時代に造られた半島最大の農業用ため池で、雲仙岳の山並みを映す水鏡です。小浜温泉街からほど近く、周囲には棚田が広がり、池のほとりにはキャンプ場もあり、身近な里地の自然とふれあえます。

09 曲崎



下島から突き出した陸繋島にあり、見事な砂嘴が伸びています。周辺には岩礁も発達し、海中では色鮮やかなトサカ類や熱帯魚の群泳を見ることができます。

10 高舞登山 展望台からの眺望



多島海景観を眺望できる展望台があり、夕暮れの素晴らしさは有名です。また、高舞登山から龍ヶ岳に連なる鋭い山稜線は、すぐ海に迫る山容から「観海アルプス」とも呼ばれています。

11 次郎丸嶽 山頂付近からの眺望



東面が垂直に切れ落ちた三角錐の山容と、山頂部の砂岩の巨石群から、北側の太郎丸嶽とともに天草の秀峰と呼ばれています。有明海や雲仙岳を眺望することができます。

12 妙見浦



下島の西海岸は、洞門、断崖などが連続する豪壮な海岸景観を呈しています。中でも妙見浦の「妙見岩」は南側から眺望すると像の形に見えることで有名です。

13 大ヶ瀬



西海岸の海上に棒柱状の岩礁が数十個突き出ており、特異な海上景観を呈しています。また海の中も種群によって、優れた景観が広がっています。

14 崎津教会



キリシタンの歴史を物語る教会です。敷地内は公園区域外ですが、複雑に入り組むリアス式海岸の一角にたたずみ、国立公園の自然景観に文化的なアクセントを加えています。

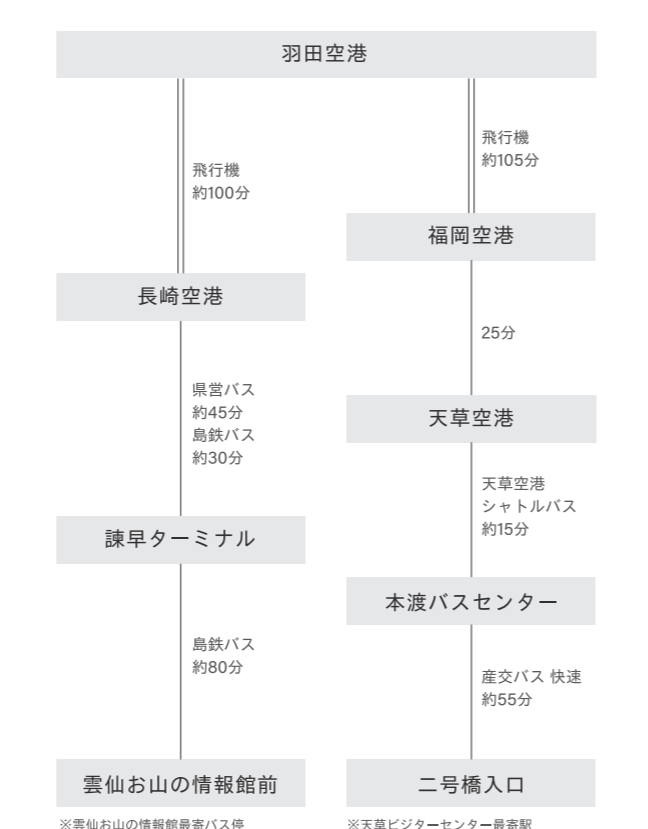
※平成30年6月、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

Information 施設案内

Table listing facilities: 雲仙お山の情報館, 平成新山ネイチャーセンター, 富岡ビジターセンター, 雲仙諏訪の池ビジターセンター, 天草ビジターセンター. Includes phone numbers and addresses.

※営業期間・時間等については年により変更になることがありますので、ご利用の際は事前に最新の情報をご確認ください。

Access 交通アクセス



※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。

Main map of Unzen Amakuni National Park with labels for various spots (01-14), a legend, and an inset map of Japan.

※詳細な区域確認等に当たっては、担当の環境省自然保護官事務所等に問い合わせてください。